

研究者情報

氏名	三瓶 千香子
役職	桜の聖母短期大学 准教授 (桜の聖母生涯学習センター長)
所属	桜の聖母短期大学 キャリア教養学科
最終学歴	上智大学大学院文学研究科博士課程前期 (教育学専攻)
学位	教育学修士
専門分野	生涯教育学
所属学会	内閣府認証 特定非営利活動法人 全日本大学開放推進機構 (理事) 日本ウエルネス学会、生涯学習・社会教育研究推進機構、大学教育学会
主要担当科目	「人間と教育A」「プランニング入門」「生涯学習概論」「キャリア形成論」「地域形成論」「福島学」「イベントの企画」など
研究課題	生涯学習、地域づくり、生きがいつくり、高等教育、大学開放論、アクティブラーニング

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
単著	(その他：雑誌記事<寄稿論文>) 『福島学』から“21世紀型の青年”を育てる～2015年度高大連携プログラムを中心に～	日本青年館『社会教育』10月号、18-23頁	平成27年10月
単著	(論文) 「地方創生のコアとしての「傾聴ボランティア養成講座」～福島の記事ニーズに応える取り組みの事例として～」	全日本大学開放推進機構『UEJジャーナル』第18号、 http://www.uejp.jp/pdf/journal/18/18_1a.pdf	平成28年1月
共著	(論文) 「アクティブラーニングの試行に向けた先進的学習空間視察」(An Observation Report of Advanced Learning Area for Active Learning Trail)	桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第40号、1-31頁。	平成28年3月
単著	(論文) 「これからの『福島学』の位置づけに関する一考～2012年度からの4年間を振り返って～」	『人間学研究所所報』第21号、桜の聖母短期大学人間学研究所、13-25頁。	平成28年3月
単著	(論文) 「イベント企画を通じて学生が獲得した能力のテキストマイニング分析ーアクティブラーニングの有	桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第41号、125-144頁。	平成29年3月

<p>単著</p>	<p>効性の模索ー」(Analysis of Student Abilities through the Use of Text Mining for Event Planning-An Attempt at Analyzing the Effects of Active Learning-)</p> <p>(論文)</p> <p>「生涯学習支援から考える大学機能の拡充案～地域における大学のエンゲージメントを目指して～」</p>	<p>『人間学研究所所報』第 22 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、27-45 頁。</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>
<p>単著</p>	<p>(論文)</p> <p>『『若者はなぜ学習センターを利用しなくなったのか』考～“若者の声を届ける”官民学連携プロジェクト～』</p>	<p>日本青年館『社会教育』5 月号、52-59 頁</p>	<p>平成 29 年 5 月</p>
<p>単著</p>	<p>(論文)</p> <p>「地域における傾聴ボランティア養成の意義」</p>	<p>全日本大学開放推進機構『UEJ ジャーナル』第 24 号、http://www.uejp.jp/pdf/journal/24/241.pdf</p>	<p>平成 29 年 7 月</p>
<p>単著</p>	<p>(レポート)</p> <p>「そこにいる、ともにいる (being) 傾聴ボランティア養成講座一福島と広島の連携講座レポート」</p>	<p>全日本大学開放推進機構『UEJ ジャーナル』第 25 号、http://www.uejp.jp/pdf/journal/25/252.pdf</p>	<p>平成 29 年 10 月</p>
<p>単著</p>	<p>(雑誌寄稿)</p> <p>「公民館職員は『外へ』、大学は『受け皿に』ー公民館と大学の「若者を考える・集める」連携プロジェクト」</p>	<p>『月刊公民館』2017 年 12 月号、14-18 頁。</p>	<p>平成 29 年 12 月</p>
<p>単著</p>	<p>(論文)</p> <p>「テキストマイニングを用いたイベント企画の過程にて学生が獲得した能力の分析Ⅱーアクティブラーニングの有効性の模索ー」(Analysis of Student Abilities through the Use of Text Mining for Event Planning II -An Attempt at Analyzing the Effects</p>	<p>桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 42 号、21-37 頁。</p>	<p>平成 30 年 3 月</p>

単著	of Active Learning-) (論文) 「田澤義鋪の宿泊講習実践における青年教育思想－地域におけるかわり創出検討の手がかりとして－」(A Study of the Young Education Philosophy of Yoshiharu Tazawa in Lodging Training Practice － with Consideration for the Creation of Relationships and Involvement in the Local Community－)	桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第43号、7-18頁。	平成31年3月
----	---	---------------------------------	---------

主な社会貢献活動

社会貢献活動	活動年月日
福島県生涯学習審議会	平成27年2月～現在
福島市生涯学習を進める市民会議	平成27年2月～現在
福島市「アクティブシニアセンター」コア会議 企画アドバイザー	平成21年8月～現在
日本青年館 評議員	平成27年4月～現在
文部科学省第8期中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会専門委員	平成27年4月－平成28年3月
一般財団法人短期大学基準協会 第三者評価員	平成27年6月-平成28年3月
KFB 福島放送 番組審議委員	平成24年10月－現在
南相馬市教育振興基本計画策定委員会 学識者委員	平成27年1月－平成28年3月
全国生涯学習ネットワークフォーラム福島大会実行委員	平成27年6月-11月
福島県明るい選挙推進協議会委員	平成29年3月-現在

特別研究

テーマ／概要	生涯学習・自己づくり・地域づくり
特別研究内容	「生涯学習」を軸とする研究を行う。学ぶとは何かを追究することで、知と知、知と人、人と人、人と地域という様々なつながりの重要性、財産性、そしてその魅力を明らかにする。教育学、心理学、社会学、地域づくりをテーマにすることが多いが、生涯学習そのものが広い概念のため、多様かつ多角的なテーマ設定が可能なことが特徴の特別研究である。